

平成30年度決算について

- ① 歳入決算額 28億 557万1千円 (前年度比 ▲4億9,157万9千円、14.91%減)
 歳出決算額 27億5,369万9千円 (前年度比 ▲3億5,314万1千円、11.37%減)
 歳入歳出収支 5,187万2千円

- ② 保険給付費 18億4,580万8千円 (前年度比 ▲492万9千円、0.27%減)

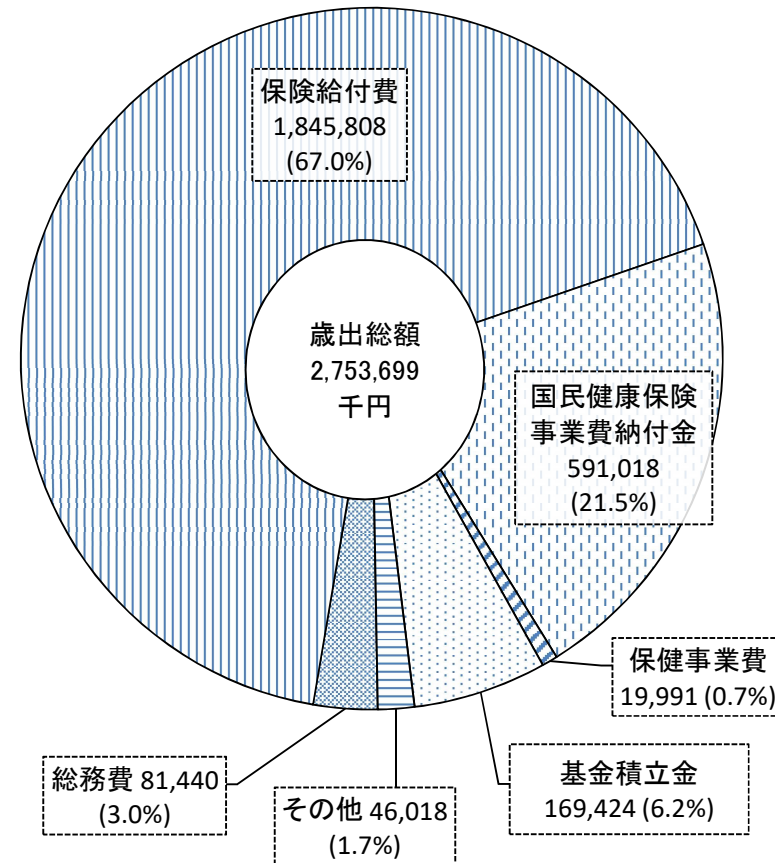
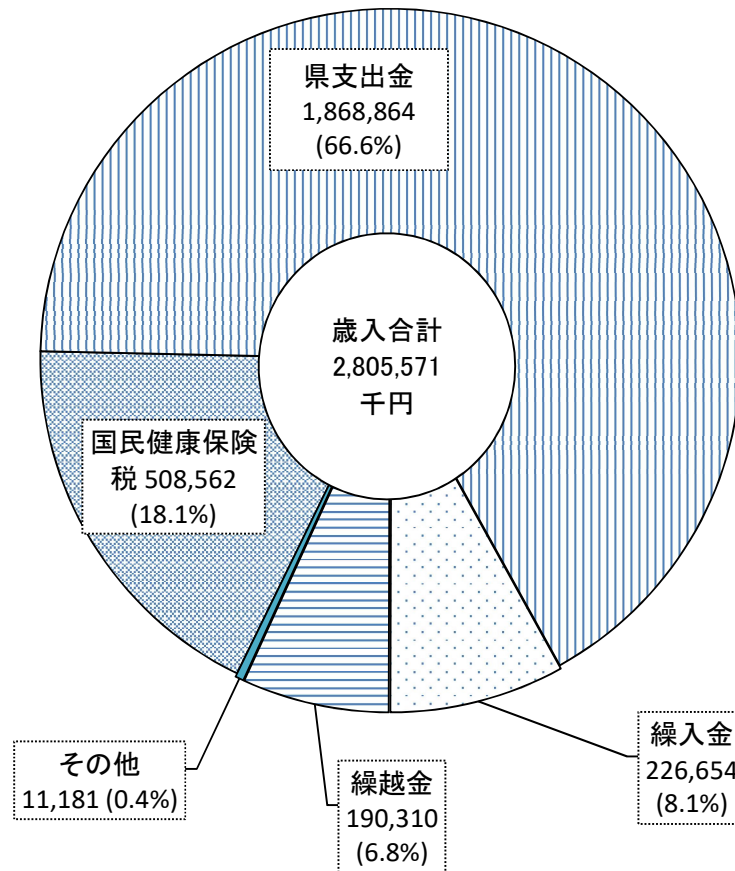
- ③ 被保険者数 (4~3月平均) 5,476人 (前年度比▲209人、3.68%減)

- ④ 一人当たり医療費 411,027円 (前年度比+18,622円、4.75%増)

- ⑤ 保険税現年度収納率 96.45% (前年度比同数)

平成30年度 国民健康保険事業 決算の内訳

(単位:千円)



平成 30 年度 歳入決算について

(単位:千円)

項目	H30			H29	H30-H29
	予算	決算	決算-予算	決算	増減額
国民健康保険税	489,250	508,562	19,312	618,824	▲ 110,262
使用料及び手数料	151	206	55	238	▲ 32
国庫支出金	1	0	▲ 1	665,135	▲ 665,135
県支出金	1,924,683	1,868,864	▲ 55,819	132,230	1,736,634
退職者医療交付金				69,752	▲ 69,752
前期高齢者交付金				672,001	▲ 672,001
共同事業交付金				741,748	▲ 741,748
財産収入	200	38	▲ 162	21	17
繰入金	228,894	226,654	▲ 2,240	264,534	▲ 37,880
繰越金	190,310	190,310	0	128,306	62,004
諸収入	5,586	10,937	5,351	4,361	6,576
その他	5,937	11,181	5,244	4,620	6,561
歳入合計	2,839,075	2,805,571	▲ 33,504	3,297,150	▲ 491,579

国民健康保険税は、保険税率の引き下げによりH29年度と比較して▲1億1,026万円の減となった。

国支出金は、国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより、H29年度と比較して▲6億6,514万円の減となった。

県支出金は、国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより、H29年度と比較して17億3,663万円の増となった。

退職者医療交付金、前期高齢者交付金、共同事業交付金は国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより皆減し、H29年度と比較して合わせて▲14億8,350万円の減となった。

繰入金は、保険基盤安定繰入金が保険税率引き下げの影響から減となったことなどにより、H29年度と比較して▲3,788万円の減となった。

繰越金は、前年度繰越金の増により、H29年度と比較して6,200万円の増となった。

平成 30 年度 歳出決算について

(単位:千円)

款	H30			H29 決算	H30-H29 増減額
	予算	決算	不用額		
総務費	83,612	81,440	2,172	85,533	▲ 4,093
保険給付費	1,908,269	1,845,808	62,461	1,850,737	▲ 4,929
後期高齢者支援金等				303,817	▲ 303,817
前期高齢者納付金等				1,146	▲ 1,146
老人保健拠出金				8	▲ 8
介護納付金				120,274	▲ 120,274
国民健康保険事業費納付金	591,020	591,018	2		591,018
共同事業拠出金	3	0	3	666,410	▲ 666,410
財政安定化基金拠出金	1	0	1		0
保健事業費	30,346	19,991	10,355	14,151	5,840
基金積立金	169,586	169,424	162	55,987	113,437
その他	56,238	46,018	10,220	8,777	37,241
歳出合計	2,839,075	2,753,699	85,376	3,106,840	▲ 353,141

後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等、老人保健拠出金、介護納付金は国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより廃止され、H29年度と比較して合わせて▲4億2,525万円の減となった。

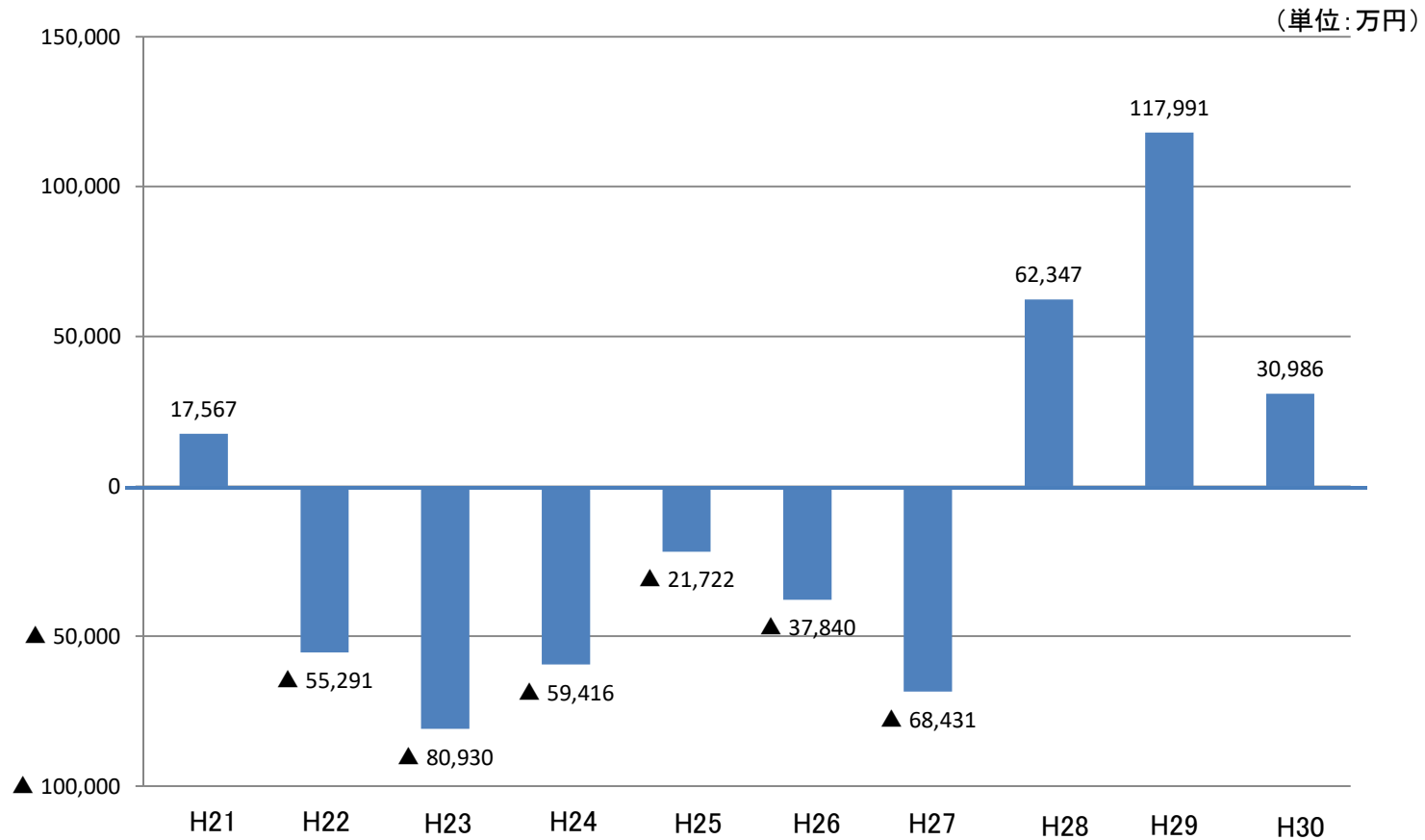
国民健康保険事業費納付金は国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより新設され、H29年度と比較して5億9,102万円の増となった。

共同事業拠出金は、国保制度改正により財政運営が県単位化となったことより医療費分が廃止され、H29年度と比較して▲6億6,641万円の減となった。

基金積立金は、前年度繰越金の増により、H29年度と比較して1億1,344万円の増となった。

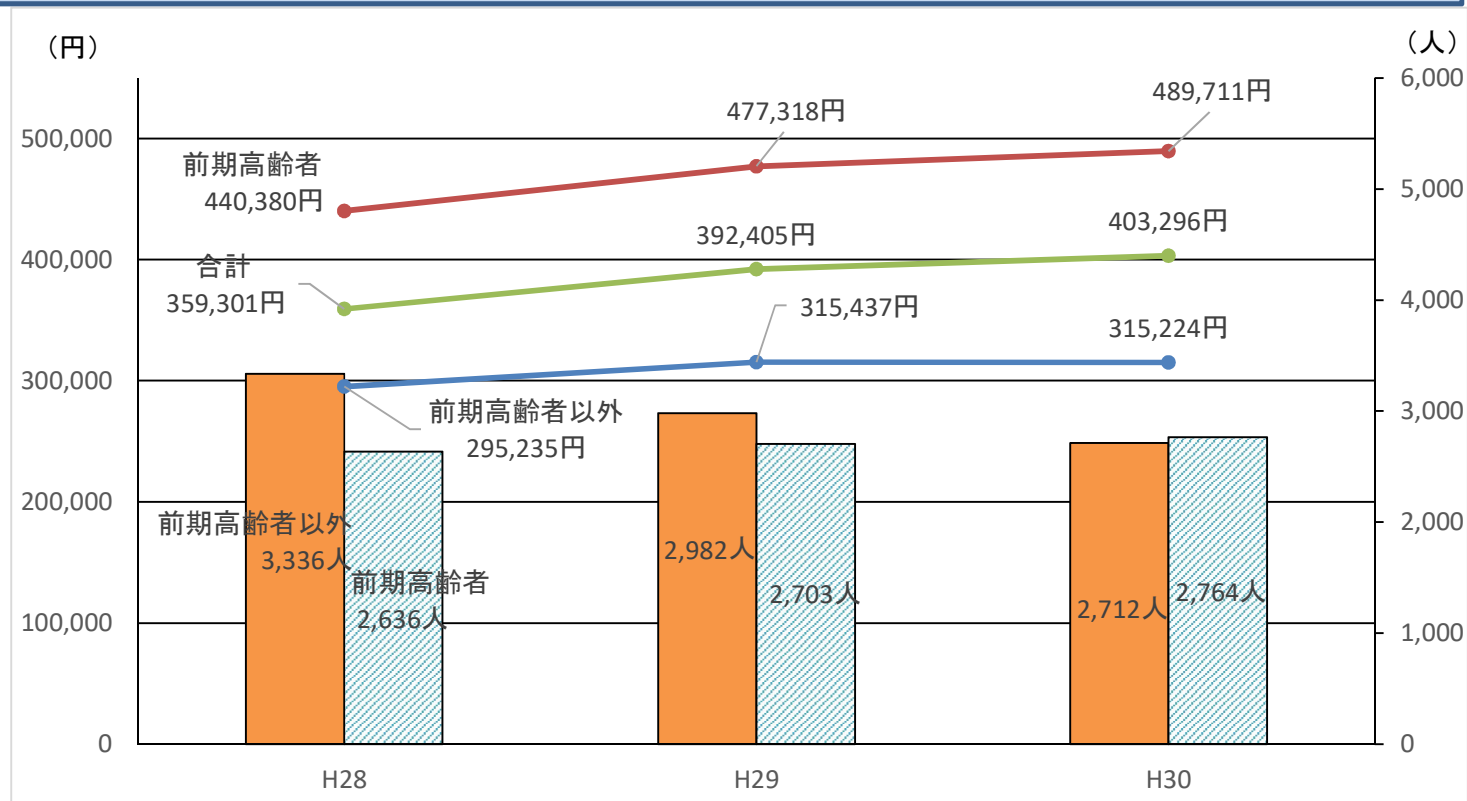
単年度収支の状況

単年度収支の状況は、保険税率の引き下げにより税金は減少したが、単年度収支の改善により基金積立金が増となり、約3,000万円の黒字となった。



一人あたり医療費(折れ線)と 被保険者数(棒グラフ)

一人あたり医療費は前期高齢者で上昇し、合計ではH29と比べて10,891円増えている。
被保険者数は、前期高齢者が前期高齢者以外を上回り、高齢化が進んでいる。



保険税収納率(現年分)の推移

30年度も未納者への夜間訪問や、滞納者への給与等の差押えを含む対策を実施し、現年分については29年度と同じ収納率となった。

